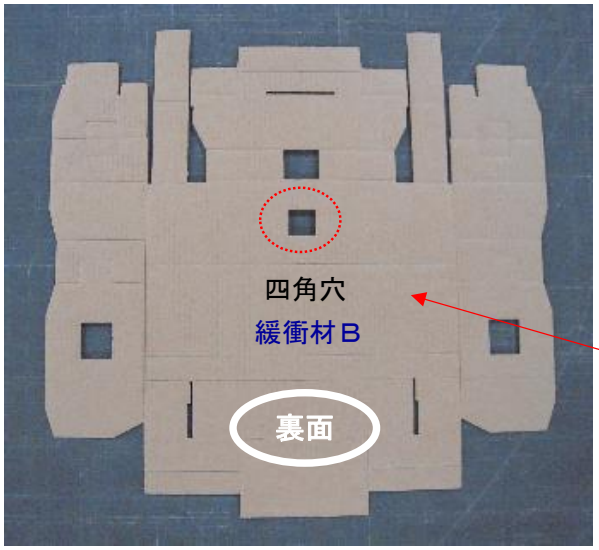
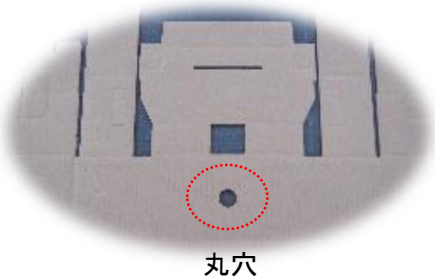
【競技課題１】　緩衝材の組立・結束

展　開　図

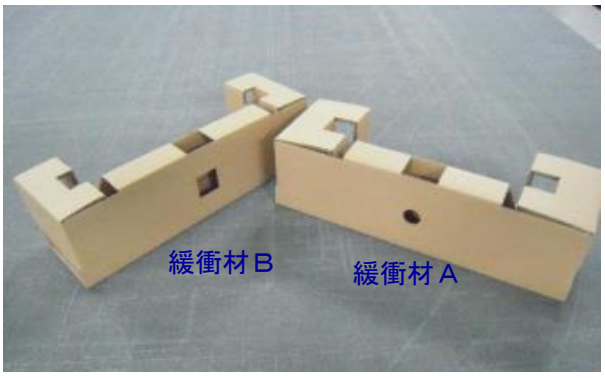




※緩衝材は2種類あります

※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

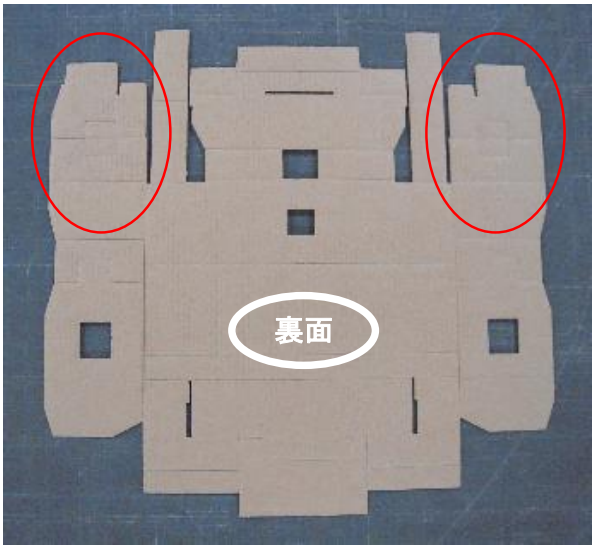
完　成　図



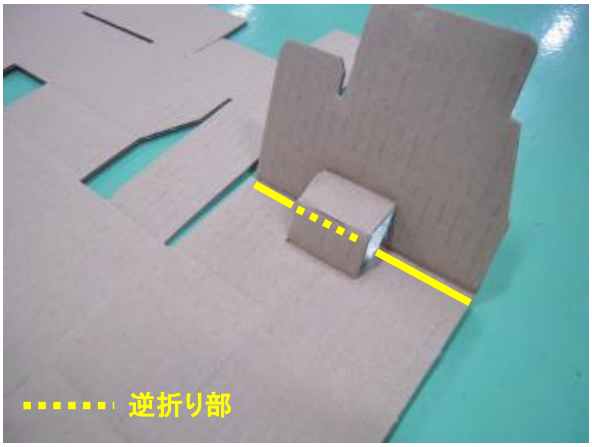
組立完成図

結束完成図

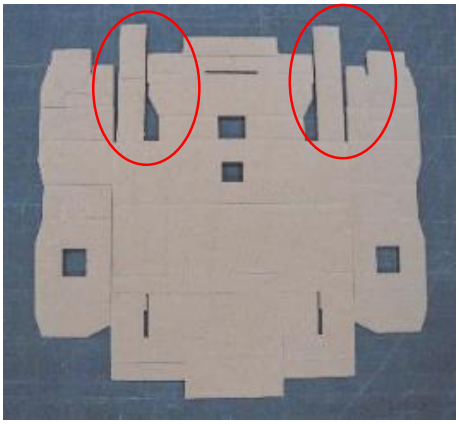
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な
折り方は共通です。（写真は緩衝材B）
緩衝材の裏面を上にし折ります。
最初に〇印の箇所から折ります。

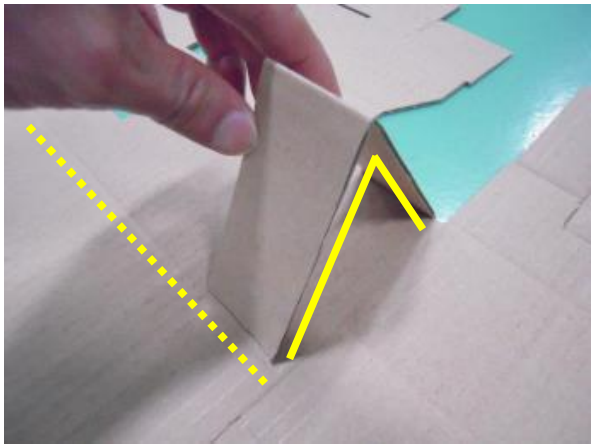


2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。

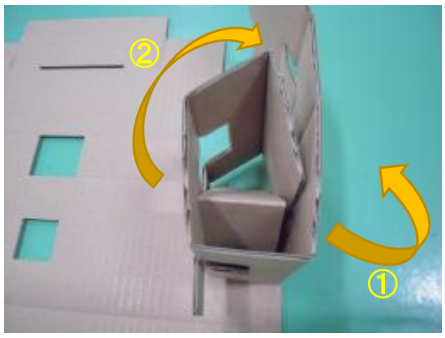


3. 〇部を点線部分の罫線に合わせ折り込み
三角をつくる。

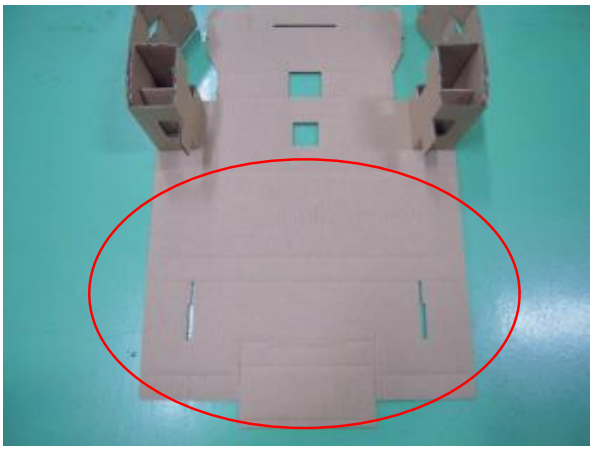




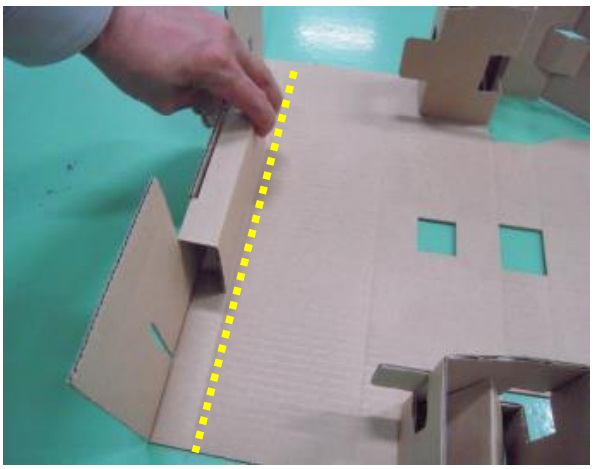
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



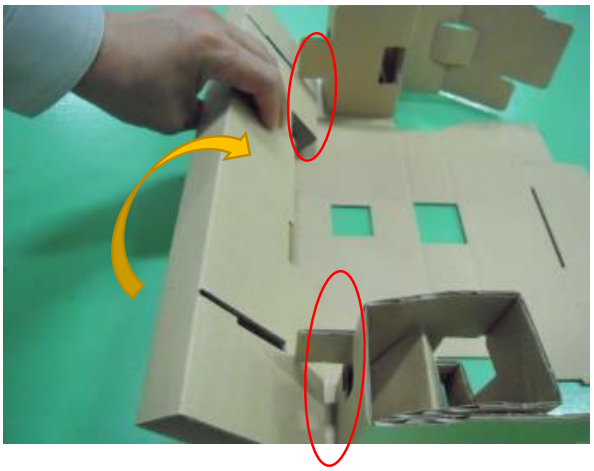
5. ○で囲んだ部分を折ります。



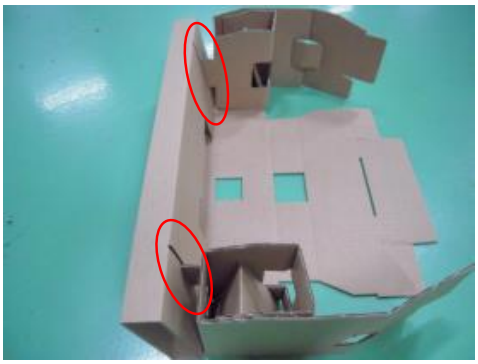
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。

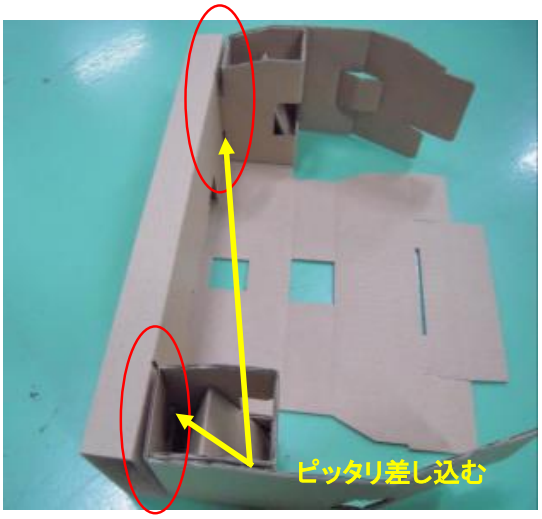


7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。

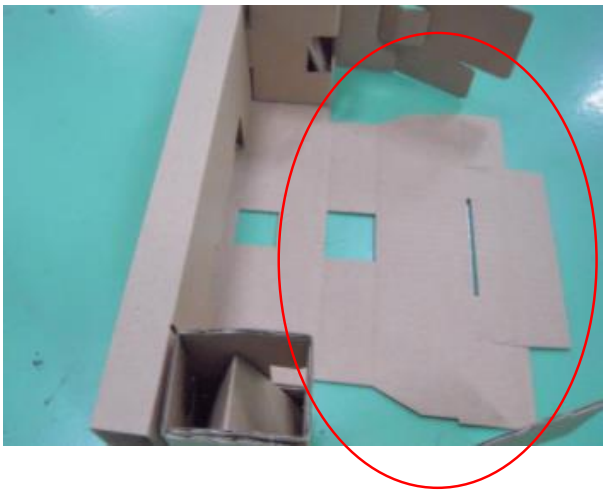


8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。

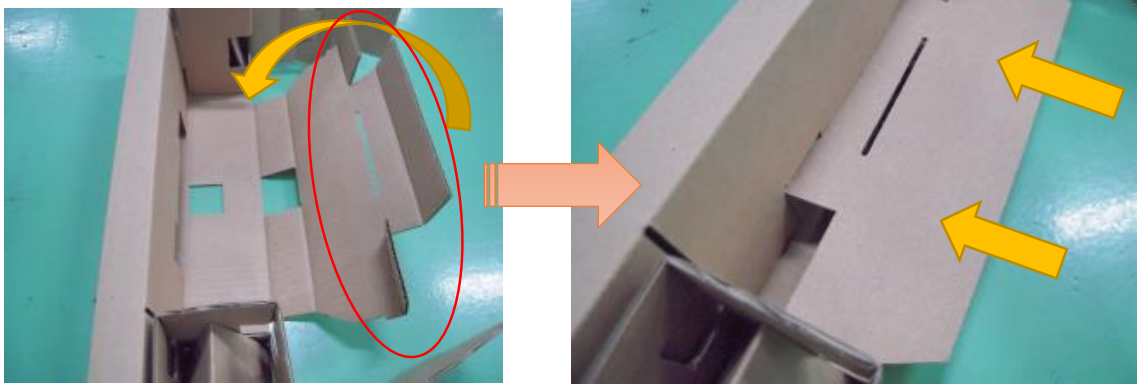




9. ○で囲んだ部分を折ります。

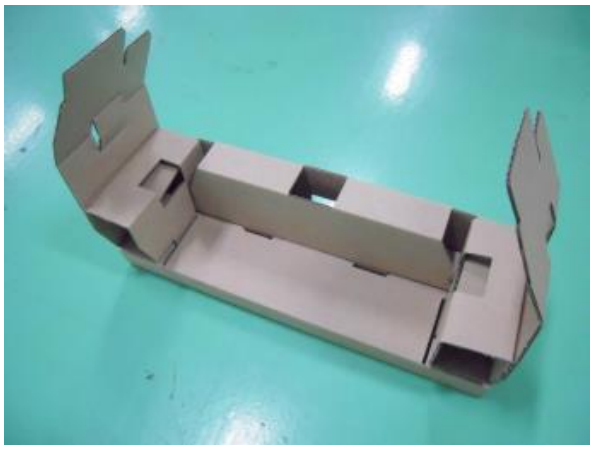


10. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。

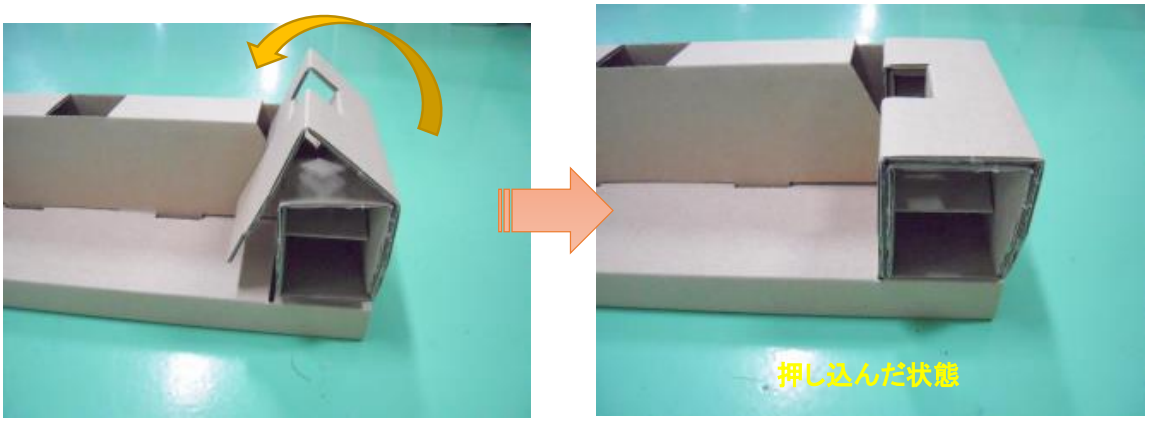


11. 全体を折り込み、本体にピッタリと押し込む。

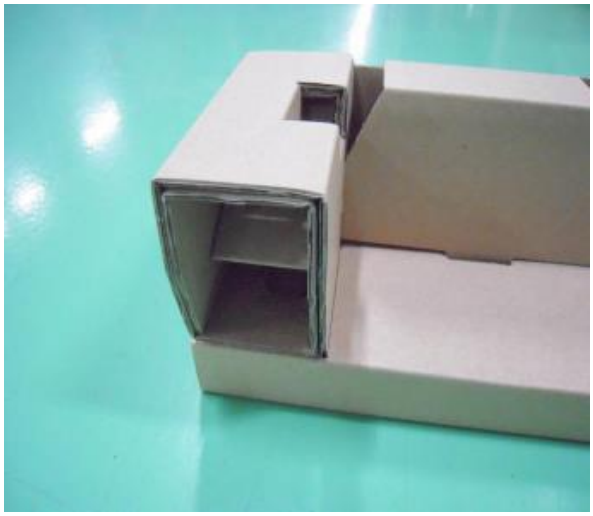
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



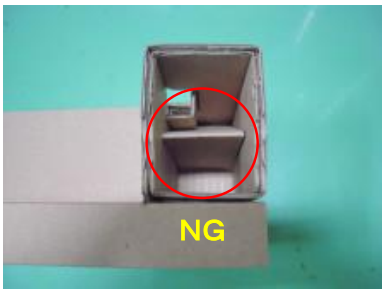
13. 袖部を罫線に合わせ折り込み、先端部を本体に差し込む。

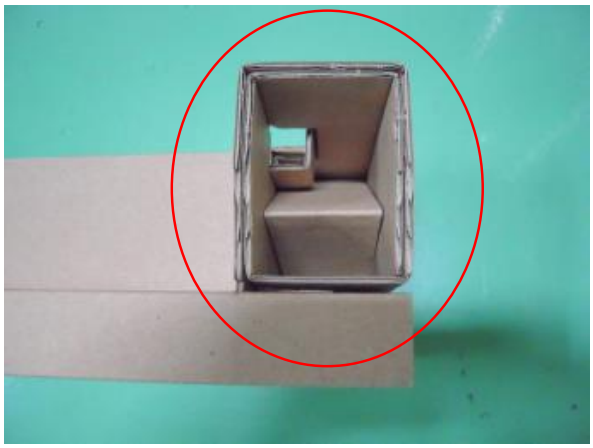


14. 反対側も同様に、本体に差し込む。

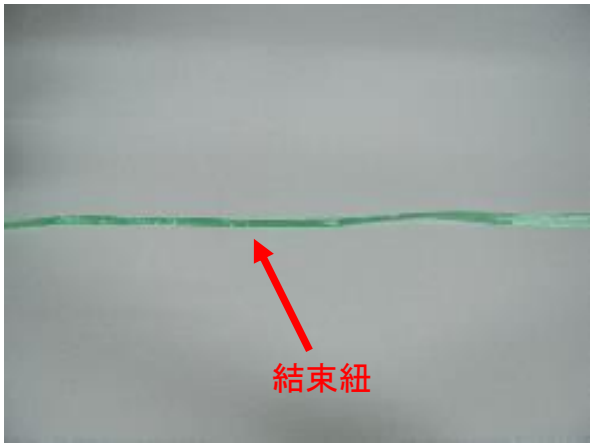


15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。
これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。





16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。

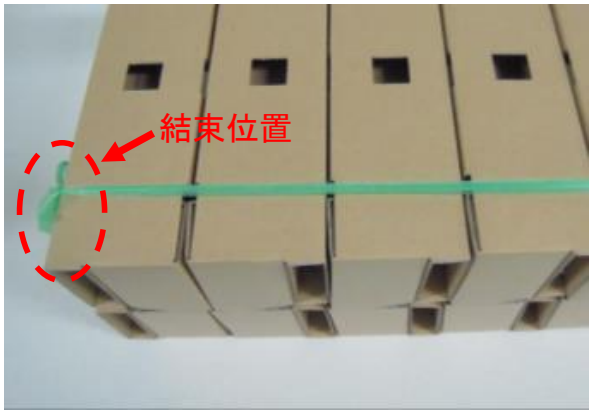


17. 設置した結束紐の上に緩衝材5個を
結束紐が端側位置にくるように置く。
置く際は〇□穴が下にくるように置く。

18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
（〇穴であれば□穴、□穴であれば〇穴）を
5個、穴が上にくるように置く。

19. 緩衝材の端から10cm以内の角で
結束する。結び方は自由。
ただし、8cm以内の結び目で容易に
解く事が可能な結び方にする。
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の
間隔が5cm以内になるようにする。

※課題2では、自ら作成した製品の
紐を解いて使用します。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の
端にくるように設置する。

21. 緩衝材の角で結束し完成。

※例として横に置いた状態での結束方法を紹介していますが、
縦に置いた状態での結束でもOKです。